



地域見守りネットワーク事業への取り組み (安否確認活動等事業)

一昨年の大震災を受け、本会では、災害時に備え、より安心・安全な暮らしが送られるよう、地域見守りネットワーク事業(安否確認活動等事業)を重点的に実施しており、日々、実践活動の事業展開に努めております。

本事業は、地域で安心して暮らすことができるよう、地域の福祉関係者の協力、支援のもと、要支援高齢者世帯、障害者世帯等に対する訪問活動(絵葉書等の手渡し、緊急時必要備品の配布、配食サービス等)、交流活動(会食会、親睦旅行、介護予防等に関する研修会等)、生活支援活動(日常生活上の悩み、困りごとを相談する場を提供)、災害援助活動(要援護者台帳や災害福祉マップの作成等)を行い、地域の見守りネットワーク構築の充実強化を図るものです。

各地域において、災害緊急時への備えとして、『あんしんカード(緊急連絡先やかかりつけの病院等を記入)』・『いのちのバトン』を配付し、災害時にも丈夫な冷蔵庫内での保管をおすすめしています。

今後も、地域住民の皆様方と手を携えながら、安否確認・見守り活動の推進に努めて参ります。



古川地域

《古川支所 地域見守りネットワーク事業》

各地域で自主的に取り組まれていた見守り活動の支援を目的に、平成22年度より、一人暮らし高齢者の方などを対象に、地域見守りネットワーク事業を開始いたしました。現在、113行政区1,020名の方に登録頂いております。(平成25年7月1日現在)

各地域では、訪問活動だけでなく、「お茶のみ会」「配食サービス」など独自に見守り活動をしており、社協では「いのちのバトン」の配布や研修の機会の提供、随時相談対応するなど、地域での活動を積極的に支援しています。



地域見守りネットワーク事業
フォローアップ研修会

地区児童による訪問活動
(メッセージカード配布)

松山地域

《各地区「お茶っこ会」》

各地区において、介護予防メニュー(健康体操・創作活動・研修・レクリエーション等)に合わせて「お茶っこ会」を開催している。地域交流活動を通し、助け合い・支え合いができる健康で明るい地域づくりの一助となっている。

※当地域では、住み慣れた地域でいつまでも幸せに暮らして欲しいという願いを込めて、「幸」 齢者の集いと呼んでいる。



三本木地域

《三本木絵手紙ボランティア》

ボランティアの協力により、絵手紙を製作し、ひとり暮らし高齢者宅へ送付している。
この活動は13年間にわたり実施している。



鹿島台地域

《行政区自主防災会》

常日頃から災害時に備え、防災・避難訓練を行っている。

また、高齢者や身体の不自由な方への声掛け等、「見守り」活動を行い、隣近所と協力し合えるコミュニケーション作りの場を設け、地域住民が安心して生活できるようにすることを目的に活動している。「自分達の地域は自分達で守る」ことができるよう、地域内での協力体制強化に取り組んでいる。



岩出山地域

《ふれあい昼食サービス》

毎月2回、ボランティアの協力により、70歳以上のひとり暮らしの方、二人暮らし世帯を対象に、温かいお弁当をお届けする「ふれあい昼食サービス」を実施。時季に合わせて、地域のボランティア団体が育てたパンジーの鉢植え等、あたたかい気持ちと一緒に訪問し、お渡ししている。

高齢者世帯の見守り活動を兼ねて行っている事業で、地域の支え合いによって成り立っている。



鳴子地域

《いのちのバトン・あんしんカード》

民生委員の皆さんのご協力のもと、登録利用者673名の方へ「いのちのバトン・あんしんカード」をお届けしました。普段は、冷蔵庫の中に収納し、緊急事態が発生した場合に活用するものとしています。また、冷蔵庫の扉には「いのちのバトン・あんしんカード」が入っていることを知らせる、マークが掲示してあります。もし、地域の皆さんが、このような緊急事態を発見したときには、冷蔵庫を確認して的確な行動をとっていただきまますようお願いいたします。 -鳴子支所だより「福祉なるこNo.39」-



田尻地域

《高齢者ふれあい食事会》

「ふれあい食事会」は、65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、年5回、会食会を通して閉じこもりや介護予防、生きがいづくり等の交流活動を行っています。地域の中での交流を通じて、民生児童委員、ボランティア、関係機関等との連携を図りながら、ひとり暮らし高齢者の安否確認を行い、地域における見守りネットワーク構築の充実、強化を図っています。

